

共通職業分類(PSTI)による台湾の1966年産業別人口の再推計

谷 口 忠 義

The Re-Estimates for Industrial Laborer in Taiwan in 1966 based on the PSTI of INCHOS

Tadayoshi Taniguchi

1. はじめに

本稿は、INCHOSの一環としておこなわれてきた台湾の人口及び産業別人口に関する長期推計のうち、1966年の産業別人口を再推計すること、既存の推計結果の精度をより高め、当該年の推計値の信頼度を高めることを目的とする。

既存の台湾の推計値は、アジア長期経済統計（ASHSTAT）シリーズ台湾巻のものをベースにして作成された経緯から、少なくとも出版（予定）の本文中のデータについては、2010年を除いてINCHOSのPSTI体系と個々の年次の産業分類が直接には対応していない。ASHSTAT用の共通分類をPSTI体系に組み替えて既存の推計はなされている。すなわち、元のデータをASHSTAT用の共通分類でいったん分類を組み替え集計し、それらをさらに、PSTI体系のコードに割り振るという間接的、二段階をへて推計されている。

本稿では、1966年の産業分類とPSTI体系を直接関連付ける、すなわち1966年のデータに直にPSTI体系のコードを割り振ることによって当初の目的を果たしていく。1966年を選択した理由は、当年のデータが産業分類の小分類まで入手可能であり、小分類の項目数も非常に多いため、元の分類にPSTIのコードを直に割り付けることによる既存推計との違いが他の年次に比較して大きく表れることが期待されるからである。

2. PST体系

INCHOSとは、International Network for the Comparative History of Occupational Structureの頭文字をとった略語であり、各国の産業化における職業構造の変化を比較史の観点で研究を進めるために2007年に立ち上がった国際ネットワークである。その目的は、各国に共通の職業コード体系（当初はPST、後にPSTIに改良された）と共通の方法論を用いて、真の意味での職業構造の比較史を構築することにある（<https://www.campop.geog.cam.ac.uk/research/projects/internationaloccupations/inchos/>, 2021/12/06アクセス）。PST体系はINCHOSの方法論の根幹といってよいだろう。

PST体系は、第一次産業 (Primary)、第二次産業 (Secondary)、第三次産業 (Tertiary) の頭文字をとってつくられた言葉で、エドワード・リグリー (E.A. Wrigley) 教授が故ロス・デイヴィス (Ros.Davies) 女史と共同で開発したものである。そして、長期にわたる「1379年から1911年の英国の職業構造 (The occupational structure of Britain c.1379-1911)」プロジェクトで収集されたすべての職業データのコード化に使用された (<https://www.campop.geog.cam.ac.uk/research/occupations/datasets/coding/>, 2021/12/06アクセス)。

今日の統計でたとえるならば、PST体系とは国際標準産業分類 (ISIC) や国際標準職業分類 (ISCO) に相当する。比較を可能にするという点で共通しているが、PST体系は職業分類と産業分類を「混合」させている点で現在のシステムとは大きく異なる。これは、職業 (activity) と産業 (product) とが未分化であった経済社会を踏まえた対応であり、PST体系が産業化の歴史分析を念頭においてつくられていることと無縁ではない。

ところで、1920年に実施された日本の第1回国勢調査においても、職業と産業が混合した分類体系で実施された。当時は「職業分類」と表記されたが、実際には「産業分類」に近いものであった (https://www.soumu.go.jp/toukei_toukatsu/index/seido/shokgyou/hen_h21.htm)。職業分類と産業分類がはっきり区別されたのは、1930年の第3回の調査からであった。

日本の国勢調査のこうした分類体系は、統計家ベルチオン氏が両者を混合した分類案を提案し、その改良版である世界標準の分類体系に沿ったものであった。当時の世界の統計家たちは、職業分類と産業分類の概念上の相違を認識し、それらを今後は区別して調査する必要性を理解していても、実際の調査やその調査設計においては、職業と産業を混合してとらえることになった。PST体系は、工業化過渡期の統計調査の現実とも整合した体系といえよう。

2017年5月にPSTからPSTIに改訂された。その主要な改訂点と理由・背景を2017年5月18日に関係者に発信されたガイドライン「INCHOS_Guidelines_for_country_chapters_16th_May_2017 docx」に基づいて説明する。

職業構造は需要構造の変化だけで説明可能であり、それに基づく経済発展と第一次産業・第二次産業・第三次産業の比率の変化に関するペティ＝クラークの法則を念頭においてリグリー教授はPSTを開発した。しかしながら、リグリー教授とINCHOSの成果を出版しようとする編集者の間の見解の違いからPSTIを生ましめた。さらに、もともと英国のデータのコーディングのために開発されたPSTでは、地中海諸国、ロシア、日本、台湾など気候や文化など異なる国々を含めた国際比較をするにあたって該当する分類がなく、従来のPSTにはないサブセクターを取り入れる必要性が生じたのも変更の一理由であった。もちろん、すでにコード化され分析が進んだ英国のデータセットとの整合性が求められたため、慎重に検討され変更は限定的であった。しかしそれは、将来のさらなる改訂の可能性をも意味していたが、結果として、PSTからPSTIでは主に3つの変更が加えられた。

第一に「鉱業」を第一次産業から第二次産業へ分類変更した。

地球から原料を採取するという他の第一次産業の活動との共通点から、PSTでは鉱業を第一次産業に分類していた。しかし、現代の標準分類では第二次産業に位置づけられていることと、「産業化」、農業からの構造的な移行の歴史分析に焦点を当てていることから、鉱業を第二次産業に置くことになった。つまり、鉱業を第一次産業に残しておく、「近代化」「工業化」「近代的経済成長への移行」が進むにつれても、思いのほか第一次産業の割合が減少しないことになる。統計の観点からいうと、第一次産業の値が過大推計となってしまうのである。この第二次産業への大分類をまたぐ大きな変更は各国の関係者の意向を汲むものでもあった。

第二は、PSTコード「5,60」(地主・所有者 (owners)、資本の保有者 (possessors of capital))と「5,65」(著名人 (distinguished)、位階者 (titled)、紳士 (gentleman))をPSTIでは就業人口から除外した点である。不労所得で生活している人は労働力外とみなす現代の職業分類の枠組みと一致したものに変更したのである。

ただし、このカテゴリーに分類された人、たとえば「紳士」の多くは、実際には地主や農家といった第一次産業、何らかの製造業といった第二次産業を営んでいた。現代の統計の観点からすれば、不労所得者は労働力から除外することは至極当然といえるのであるが、当時の状況を今風にいえば、経営者として当該産業に関わる、従事していたとみなすことも可能なため、労働力に含めていたPSTの考え方にも往時に重点をおいた歴史分析ならば意義が十分にある。

PSTIにおいて不労所得者を労働力から除外したもう一つの理由は、時系列データを作成した際、その安定性に懸念がもたれたことにあった。テイラー (E.S.Taylor) 教授がイングランドとウェールズの職業データを調査した結果、上記2つのコードに分類されたデータは、連続するセンサス間において、報告される頻度が大きく異なることが示唆されたのである。これらに分類される数値が大きく変動することにより、作成されたデータセットから計算される労働力シェアと、その時系列分析が十分な意味を持たない可能性が示されたのである。

第三の変更点は、INCHOSの対象国において重要な産業がいくつか追加された。最も重要な変更は、第一次産業の「狩猟」「養蚕」「ブドウ栽培」であった。養蚕は日本では極めて重要な産業であり、ブドウ栽培は英国では冷涼な気候のため少ないが、イタリアやスペインなど地中海地域では多くの人々が従事する今でも重要な産業である。こうした変更によりPSTIは国際比較を考慮できる体系に改良された。ところで、INCHOSの台湾部分の既存推計とアジア長期経済統計 (ASHSTAT) シリーズ台湾巻の推計との大きな違いは、前者の推計では「その他の有業者」の産業別配当が数量データに即した推計方法に改善されている点である。推計方法や推計結果など詳細は本紀要の第44号を参照されたい。

2. 推計方法～分類組替表について～

1966年の台湾の国勢調査をPSTIコード (15. May. 2017版) に組み替えた結果が表1である。

臺灣省戸口普查處編『中華民國五十五年臺灣地區戸口及住宅普查報告書』の産業分類の最も細かいカテゴリーである小分類を2017年5月18日にテイラー教授から関係者に発信されたメールに添付されていた「PST to PSTI Five points at third point.xls 15.5.2017.xls」版のPSTI体系のコードに割り付けている。

表1では空間を節約するために、小分類の番号とPSTIのコード番号のみを記載している。あわせて、台湾の国勢調査を「国調」と略記している。表では台湾の国勢調査の分類項目からPSTIへの対応がわかりやすい形式であらわしている。そのためPSTIコードは必要に応じて繰り返し表され、農業を示す1.1.1コードは7度あらわれている。

日本統治期を含めた台湾の国勢調査において、1966年の産業分類が一番細かく、出版され公表されている統計数値もその小分類で標章されている。分類項目数が多く詳細なためPSTIの1項目と1対1で対応する場合が大多数となったが、いくつかの例外もある。たとえば、台湾国勢調査小分類項目613、「日用飲食品批發業」(日用飲食品卸売業)は、3, 3, 1 (Dealers in food食品卸売業)、3, 3, 2 (Dealers in drink飲料品卸売業)、3, 3, 3 (Dealers in tobacco煙草卸売業)の3項目に対応するとみなし、表中では613の項目に3つのPSTIのコードを記している。

こうした複数コードに対応する場合、アジア長期経済統計 (ASHSTAT) プロジェクトにおいて一部

の年次で試みたような、適当なウェイトを仮定した各項目へデータ値を分割配分する方法をここでは採用していない。手間がかかる点と、適当なウェイトを設定する情報が手元にはなかったためである。

上記で述べた産業分類の組替以外の推計のやり方は、従前のINCHOSの方法、アジア長期経済統計（ASHSTAT）シリーズ台湾巻の推計方法にしたがった。

3. 推計結果と若干の検討

前節の方法により1966年の台湾センサスの男女別産業別就業者数をINCHOSのPSTIコードベースで再推計した結果は表2のとおりである。従前の推計値と比較できるようにあわせて表示している。備考欄には、INCHOSで足しあわされたコード群のうち、本推計で該当するデータがない分類コードを記載した。また、従来のINCHOSの数値に誤りがあった調整前の女性については、本来示すべき数値に訂正して表示した。INCHOSでのパネル5は本稿の数値を、パネル9の男女合計は本稿の男女の合計を利用していきたい。

調整済と未調整の違い、すなわち調整の内容やその手続きは、出版予定のINCHOSの台湾部分を参照されたいが、アジア長期経済統計（ASHSTAT）シリーズ台湾巻に記載のオリジナルデータからの一連の加工（推計）ものと、本紀要の第44号を合わせた内容となっている。

未調整から調整済において、主に3つの調整がおこなわれた。第一は対象年齢の調整である。他の年次や現代の統計と整合させるために、オリジナルで標章されている12歳以上の数値を、調整後は各歳データを使って15歳以上に調整している。第二はINCHOSの推計方針にしたがいたい、分類不能者を第一次、第二次、第三次産業へ振り分ける調整である。第三はINCHOSの推計方針にしたがいたい、失業者を第一次、第二次、第三次産業へ振り分ける調整である。

第一の調整は、調整後の推計値を調整前と比較して小さくする方向に働く一方、第二と第三の調整は3つに大分類された産業の数値を大きくする方向に作用する。

さて、1966年センサス単年度のみではあるが、INCHOSのPSTIコードとの直接対応の組み替えにより、従前の中分類レベルでの推計よりもより多くの分類、さらには下位の分類である小分類での推計値がえられた。

大分類レベルで本推計の結果を既存推計と比較すれば、第一次・第二次・第三次の各産業の総計に対する割合は、既存推計と本推計でほとんど差が生じていない。百分率の小数第一位において、同数の場合がほとんどであり、最も差が生じている調整後の男性の第三次産業においても0.3%に過ぎない。

ただ実数でみると、INCHOSの既存推計結果の第二次産業の値が過小であり、ほぼそれと同人数分だけ第三次産業の値が過大となっている。たとえば、調整前の男性の第二次産業は、本推計が既存推計より6251人上回っており、第三次産業において同人数分だけ本推計が下回っている。調整後においては、上回っている人数が7381人と増加し、第三次産業は7260人、第一次産業は121人下回っている。同様のことが女性においても生じている。調整前の第二次産業は、本推計が既存推計より366人上回っており、第三次産業の本推計のそれは同数だけ下回っている。調整後は、第二次産業の数値は既存推計より467人、第一次産業は64人上回っており、ちょうどその和の人数だけ第三次産業の本推計の数値は小さくなっている。

本推計と既存推計を比較したとき、絶対数(人数)の変化率（誤差率）で最も高いのは、調整後の男性の第二次産業であり、1.1%である。調整前の男性の第二次産業も1.1%であるが、それ以外は絶対値0.5以下となっている。

従来のINCHOSの推計結果は第二次産業の推計値が過小に計算されており、ほぼその分だけ第三次産業が過大に推計されていることがわかった。ただ、その誤差率の最大値は1%ほどである。大分類レベルでの分析においては、従来の推計値を利用していたとしても大きな誤りは招かないであろう。ただ、小分類、中分類では既存推計と本推計で大きな差が生じている場合もあり分析の再検討を要する可能性がある。

表1 分類組替対応表

国調	PSTI	国調	PSTI	国調	PSTI	国調	PSTI	国調	PSTI	国調	PSTI
011	1, 1, 1	222	2, 2, 3	321	2, 2, 58	422	2, 3, 81	681	3, 5, 30	841	3, 5, 16
012	1, 1, 1	231	2, 2, 20	322	2, 2, 58	423	2, 3, 80	682	3, 5, 30	842	3, 5, 31
013	1, 1, 1	232	2, 2, 20	329	2, 2, 58	424	2, 3, 81	683	3, 5, 30	843	3, 5, 31
014	1, 1, 2	233	2, 2, 20	331	2, 2, 75	490	2, 3, 80	711	3, 6, 5	844	3, 5, 31
015	1, 1, 1	234	2, 2, 20	332	2, 2, 46	511	2, 4, 0	712	3, 6, 5	845	3, 5, 31
016	1, 1, 1	235	2, 2, 10	333	2, 2, 45	512	2, 4, 0	719	3, 6, 5	849	3, 5, 31
017	1, 1, 1	236	2, 2, 10	334	2, 2, 76	513	2, 4, 0	721	3, 6, 2	851	3, 5, 31
018	1, 1, 1	237	2, 2, 31	335	2, 2, 76	520	2, 4, 0	722	3, 6, 2	852	3, 5, 31
021	1, 3, 0	238	2, 2, 20	336	2, 2, 76	530	2, 4, 0	723	3, 6, 2	853	3, 5, 31
022	1, 3, 0	239	2, 2, 20	339	2, 2, 76	611	3, 3, 10; 3, 3, 15; 3, 3, 20	724	3, 6, 2	854	3, 5, 31
023	1, 3, 0	241	2, 2, 10	341	2, 2, 61	612	3, 3, 4	725	3, 6, 2	855	3, 5, 31
024	1, 3, 0	242	2, 2, 10	342	2, 2, 62	613	3, 3, 1; 3, 3, 2; 3, 3, 3	726	3, 6, 2	856	3, 5, 31
025	1, 3, 0	243	2, 2, 15	351	2, 2, 61	614	3, 3, 55	727	3, 6, 2	857	3, 5, 31
026	1, 3, 0	244	2, 2, 10	352	2, 2, 62	615	3, 3, 58	731	3, 6, 4	859	3, 5, 31
031	1, 1, 98	249	2, 2, 10	353	2, 2, 61	616	3, 3, 61; 3, 3, 62	732	3, 6, 4	861	3, 5, 35
032	1, 1, 98	251	2, 2, 25	354	2, 2, 61	617	3, 3, 65	733	3, 6, 3	862	3, 5, 35
033	1, 1, 98	252	2, 2, 25	355	2, 2, 61	618	3, 3, 70	734	3, 6, 3; 3, 6, 4	863	3, 5, 35
034	1, 1, 3	253	2, 2, 25	359	2, 2, 62	619	3, 3, 98	741	3, 6, 6	864	3, 5, 35
035	1, 10, 1	254	2, 2, 25	361	2, 2, 65	621	3, 4, 98	742	3, 6, 6	865	3, 5, 35
036	1, 1, 98	259	2, 2, 25	362	2, 2, 65	622	3, 4, 10; 3, 4, 15; 3, 4, 20	751	3, 6, 98	869	3, 5, 35
039	1, 1, 98	261	2, 2, 25	363	2, 2, 65	623	3, 4, 1; 3, 4, 2; 3, 4, 3	752	3, 6, 98	871	3, 5, 98
040	1, 0, 1	262	2, 2, 62	364	2, 2, 65	624	3, 4, 4	753	3, 6, 98	872	3, 5, 98
051	1, 4, 0	263	2, 2, 25	365	2, 2, 65	625	3, 4, 55	754	3, 6, 98	873	3, 5, 98
052	1, 4, 0	269	2, 2, 25	366	2, 2, 65	626	3, 4, 58	759	3, 6, 98	874	3, 5, 98
053	1, 4, 0	271	2, 2, 40	369	2, 2, 65	627	3, 4, 35	760	3, 6, 98	875	3, 5, 98
054	1, 4, 0	272	2, 2, 40	371	2, 2, 66	628	3, 4, 80	771	3, 5, 10	876	3, 5, 98
055	1, 4, 0	273	2, 2, 40	372	2, 2, 66	629	3, 4, 61; 3, 4, 62	772	3, 5, 10	877	3, 5, 98
110	2, 1, 0	274	2, 2, 40	373	2, 2, 66	630	3, 4, 25; 3, 4, 76	773	3, 5, 10	878	3, 5, 98
121	2, 1, 0	275	2, 2, 40	374	2, 2, 66	631	3, 4, 65	774	3, 5, 10	879	3, 5, 98
122	2, 1, 0	279	2, 2, 40	375	2, 2, 66	632	3, 4, 65	781	3, 6, 50	881	3, 5, 15
130	2, 1, 0	281	2, 2, 41	376	2, 2, 66	633	3, 4, 70	782	3, 6, 50	882	3, 5, 15
141	2, 1, 0	282	2, 2, 41	377	2, 2, 66	634	3, 4, 40; 3, 4, 41; 3, 4, 85	800	3, 5, 41; 3, 5, 42	883	3, 5, 15
142	2, 1, 0	283	2, 2, 41	379	2, 2, 66	639	3, 4, 98	811	3, 5, 42	884	3, 5, 15
151	2, 2, 55	284	2, 2, 41	381	2, 2, 71	641	3, 5, 1	812	3, 5, 42	885	3, 5, 15
152	2, 2, 55	291	2, 2, 30	382	2, 2, 73	642	3, 5, 1	819	3, 5, 42	886	3, 5, 15
153	2, 2, 55	292	2, 2, 30	383	2, 2, 72	643	3, 5, 1	821	3, 5, 35	887	3, 5, 15
161	2, 1, 0	293	2, 2, 30	384	2, 2, 70	644	3, 5, 1	822	3, 5, 35	888	3, 5, 15
169	2, 1, 0	301	2, 2, 55	385	2, 2, 70	645	3, 5, 1	823	3, 5, 35	889	3, 5, 15
170	2, 1, 0	302	2, 2, 55	389	2, 2, 70	649	3, 5, 1	824	3, 5, 35	891	3, 5, 25
201	2, 2, 1	303	2, 2, 55	391	2, 2, 52	651	3, 5, 30	825	3, 5, 35	892	3, 5, 1
202	2, 2, 1	309	2, 2, 55	392	2, 2, 52	652	3, 5, 30	826	3, 5, 35	893	3, 5, 20
203	2, 2, 1	310	2, 2, 55	393	2, 2, 52	653	3, 5, 30	827	3, 5, 35	894	3, 5, 20
204	2, 2, 1	311	2, 2, 56	394	2, 2, 50	654	3, 5, 30	828	3, 5, 35	895	3, 5, 20
205	2, 2, 1	312	2, 2, 55	395	2, 2, 52	659	3, 5, 30	829	3, 5, 35	896	3, 5, 20
206	2, 2, 2	313	2, 2, 57	396	2, 2, 85	661	3, 5, 30	831	3, 5, 35; 3, 5, 36	897	3, 5, 25
207	2, 2, 1	314	2, 2, 55	397	2, 2, 85	662	3, 5, 30	832	3, 5, 35; 3, 5, 36	898	3, 5, 20
208	2, 2, 1	315	2, 2, 55	398	2, 2, 57	663	3, 5, 30	833	3, 5, 36	899	3, 5, 98
209	2, 2, 1	316	2, 2, 55	399	2, 2, 98	669	3, 5, 30	834	3, 5, 36	900	98, 0, 0
211	2, 2, 2	317	2, 2, 55	411	2, 3, 80	671	3, 5, 31	835	3, 5, 36		
212	2, 2, 2	318	2, 2, 55	412	2, 3, 81	672	3, 5, 31	836	3, 5, 36		
221	2, 2, 3	319	2, 2, 55	421	2, 3, 81	673	3, 5, 31	839	3, 5, 36		

表2 1966年台湾産業別人口の再推計結果(単位は労働力率以外「人」)～INCHOS既存推計との比較表～

PSTI code	調整前 男		調整後 男		調整前 女		調整後 女		備考
	INCHOS	本推計	INCHOS	本推計	INCHOS	本推計	INCHOS	本推計	
1, 0, 0			62,747	60,592			50,112	49,698	
1, 1, 1; 1, 0, 1	1,108,677	1,047,943	1,123,486	1,070,226	369,363	331,428	335,840	301,239	
1, 0, 1		76		80		0		0	
1, 1, 1		1,047,867		1,070,146		331,428		301,239	
1, 1, 2		49,030		50,118		9,619		8,587	
1, 1, 3		46		49		6		5	
1, 1, 98		11,575		9,508		28,308		26,610	
1, 10, 1		83		87		2		2	
1, 3, 0	20,677	20,677	27,464	21,652	1,907	1,907	1,955	1,708	
1, 4, 0	78,893	78,893	81,144	82,487	10,984	10,984	10,465	10,587	
第1次産業合計	1,208,247	1,208,247	1,294,840	1,294,719	382,254	382,254	398,372	398,436	
2, 0, 0			31,558	30,823			17,497	17,408	
2, 1, 0	58,765	54,583	63,308	61,120	5,867	3,474	5,747	3,376	
2, 2, 0	45,483		50,062		10,332		8,861		
2, 2, 1; 2, 2, 2; 2, 2, 2, 1	72,539	72,539	85,903	79,725	16,937	16,937	15,318	15,055	
2, 2, 2		63,675		69,785		13,652		11,820	
2, 2, 3		5,327		5,968		1,501		1,421	
2, 2, 3		3,537		3,973		1,784		1,815	
2, 2, 10; 2, 2, 15; 2, 2, 2, 10	45,365	44,038	44,100	47,575	65,192	63,350	56,464	55,831	
2, 2, 15		11,503		12,379		17,497		14,995	
2, 2, 20		10,083		10,599		1,642		1,355	
2, 2, 20		22,452		24,597		44,211		39,482	
2, 2, 25; 2, 2, 30; 2, 2, 31; 2, 2, 35	50,934	53,548	51,437	57,390	9,048	11,117	8,006	9,723	2,2,35欠
2, 2, 25		50,405		54,040		9,013		8,006	
2, 2, 30		1,816		1,933		262		223	
2, 2, 31		1,327		1,417		1,842		1,494	
2, 2, 40; 2, 2, 41	27,322	27,322	27,541	28,894	5,554	5,554	4,810	4,819	
2, 2, 40		11,732		12,842		3,506		2,991	
2, 2, 41		15,590		16,052		2,048		1,828	
2, 2, 45		2,164		2,265		888		694	
2, 2, 46		4,512		4,830		740		627	
2, 2, 50		3,094		3,264		350		337	
2, 2, 52; 2, 2, 65	52,589	23,549	49,726	24,297	6,978	1,289	5,979	1,189	
2, 2, 52		1,491		1,557		286		256	
2, 2, 65		22,058		22,741		1,003		932	
2, 2, 55; 2, 2, 56; 2, 2, 2, 55	43,590	48,045	44,566	52,811	10,042	14,622	8,964	13,280	
2, 2, 55		35,901		39,745		10,319		9,467	
2, 2, 56		945		1,019		251		215	
2, 2, 57		11,199		12,047		4,052		3,599	
2, 2, 58		6,389		7,166		496		500	
2, 2, 61; 2, 2, 62; 2, 2, 2, 61	62,402	62,931	57,877	65,056	3,143	3,178	2,763	2,834	2,2,63欠
2, 2, 61		50,259		51,831		2,121		1,946	
2, 2, 62		12,672		13,226		1,057		888	
2, 2, 66		12,276		12,966		5,306		4,537	
2, 2, 70		6,409		6,774		399		349	
2, 2, 71		8,601		9,460		219		215	
2, 2, 72		1,707		1,918		27		27	
2, 2, 73		1,538		1,730		24		24	
2, 2, 75		8,715		9,528		1,919		1,704	
2, 2, 76		9,512		10,535		924		881	
2, 2, 85		1,258		1,289		773		539	
2, 2, 98		6,259		6,616		1,507		1,226	
2, 3, 80	94,563	75,644	125,640	83,288	2,443	1,862	3,024	1,787	
2, 3, 81		18,919		20,916		581		561	
2, 4, 0	19,009	25,260	19,511	28,376	1,645	2,011	1,660	2,035	
第2次産業合計	572,561	578,812	651,229	658,610	137,181	137,547	139,092	139,559	
3, 0, 0			70,426	67,674			40,716	40,325	
3, 3, 3, 4	232,129	168,063	249,753	173,006	56,999	43,643	55,194	42,148	
3, 3, 1; 3, 3, 2; 3, 3, 3, 3		3,244		3,352		557		539	

PSTI code	調整前 男		調整後 男		調整前 女		調整後 女		備考
	INCHOS	本推計	INCHOS	本推計	INCHOS	本推計	INCHOS	本推計	
3, 3, 10; 3, 3, 15; 3, 3, 20; 3, 3, 10		2,331		2,410		367		352	
3, 3, 4		6,468		6,728		668		649	
3, 3, 55		2,037		2,113		233		225	
3, 3, 58		627		645		68		69	
3, 3, 61; 3, 3, 62		830		851		103		101	
3, 3, 65		815		831		111		104	
3, 3, 70		620		624		40		40	
3, 4, 1; 3, 4, 2; 3, 4, 3, 4, 10; 3, 4, 15; 3, 4, 20; 3, 4, 10		44,192		45,440		20,738		19,983	
3, 4, 4		10,612		10,956		3,747		3,644	
3, 4, 4		47,746		49,360		8,574		8,219	
3, 4, 25; 3, 4, 76		556		553		46		45	
3, 4, 35		847		856		170		166	
3, 4, 40; 3, 4, 41; 3, 4, 55		4,337		4,421		1,387		1,335	
3, 4, 58		18,628		19,207		3,322		3,233	
3, 4, 61; 3, 4, 62		4,881		5,038		777		759	
3, 4, 65		6,431		6,519		1,164		1,146	
3, 4, 70		5,531		5,605		776		750	
3, 4, 80		2,922		2,936		250		249	
3, 4, 80		4,408		4,563		545		540	
3, 3, 98; 3, 4, 98	0	64,066	345	66,338		13,356	4	12,887	
3, 3, 98		10,473		10,807		1,132		1,065	
3, 4, 98		53,593		55,530		12,224		11,822	
3, 5, 10; 3, 5, 30; 3, 5, 10	35,290	33,782	40,819	35,370	10,702	10,646	10,773	10,677	3,4,90欠
3, 5, 30		676		700		89		81	
3, 5, 16; 3, 5, 31	152,312	33,106	153,798	34,670	65,223	10,557	64,539	10,596	
3, 5, 16		53,438		52,570		2,106		2,011	
3, 5, 31		8,525		8,789		558		551	
3, 5, 1; 3, 5, 15; 3, 5, 20; 3, 5, 25; 3, 5, 1	165,961	44,913	170,308	43,781	131,095	182,149	118,307	169,690	
3, 5, 1		224,544		231,892		16,471		15,708	
3, 5, 15		54,490		55,910		6,175		5,813	
3, 5, 20		14,254		14,664		28,024		24,843	
3, 5, 25		27,582		28,417		75,669		67,598	
3, 5, 35		19,585		19,493		40,489		40,569	
3, 5, 35; 3, 5, 36		83,782		87,590		11,629		11,466	
3, 5, 36		18,971		19,718		3,692		3,693	
3, 5, 41; 3, 5, 42; 3, 5, 41; 3, 5, 42	598,085	5,880	605,956	6,100	19,845	19,479	19,936	19,478	
3, 5, 42		591,834		720,562		18,849		18,845	
3, 5, 50		589,287		617,892		630		633	
3, 5, 98		2,547		2,670		12,119		11,851	
3, 6, 1; 3, 6, 2; 3, 6, 4; 3, 6, 5; 3, 6, 6	136,530	41,799	150,047	43,394	11,086	10,326	11,220	10,319	3,6,1欠
3, 6, 2		77,980		81,548		8,271		8,253	
3, 6, 3		442		459		19		17	
3, 6, 3; 3, 6, 4		3,717		3,896		237		238	
3, 6, 4		13,978		14,659		317		318	
3, 6, 5		21,826		22,885		1,028		1,034	
3, 6, 6		4,579		4,804		454		458	
3, 6, 50	11,811	11,811	11,861	12,376	2,998	2,998	2,992	3,016	
3, 6, 98		14,008		14,619		760		750	
第3次産業合計	1,332,118	1,325,867	1,453,313	1,446,052	297,948	297,582	323,681	323,150	
98, 0, 0		222,101		222,101		11,466		11,466	
98, 2, 0		241,298		241,298		193,077		193,077	
99, 0, 0		1,023,357		1,023,357		2,998,344		2,998,344	
99, 60, 0			663,300	663,300			2,649,075	2,756,506	
労働力人口	3,335,027	3,335,027	3,399,382	3,399,382	828,849	828,849	861,145	753,714	
生産年齢人口	4,599,682	4,599,682	4,062,682	4,062,682	4,020,270	4,020,270	3,510,220	3,510,220	
労働力率	0.78	0.78	0.84	0.84	0.25	0.25	0.25	0.21	